

私たちは、製品による環境への貢献の他に、事業活動における環境負荷低減の側面からも環境保全に取り組んでいます。事業活動では、製造における各工程でのエネルギー使用量の削減や再生可能エネルギーの活用、廃棄物の3R*推進に取り組んでいます。また、生産拠点を中心とした15拠点ではISO14001の認証を取得しています。環境マネジメントシステムの効果的な運用を通じて、環境トラブル発生防止や各種法令の遵守に加え、環境負荷の低減を図り、持続可能かつ地球環境と調和した経営活動を推進します。

*3R:リデュース・リユース・リサイクル



群馬製造所に設置したHane®Module

現場に根差した 環境保全活動から、 製造所全体のCO₂排出量 削減へ

太田 群馬製造所は昨年度3台あった 脱臭炉の運用を2台に統合して年間で約200t-CO2、太陽光パネルの新規設置で約50t-CO2の排出量を削減しています。2025年度は大幅な省エネルギー効果が見込めるフィルムの耳屑処理用の送風設備の導入を予定しています。また、印刷工程で使用したインキや使用済みの溶剤が付着した清掃用ウエスから溶剤を回収して再利用するなどで、産業廃棄物の削減やリサイクルを推進しています。こうした一つひとつの改善が事業所全体の環境負荷の低減につながっていますし、他の製造所と活動の

情報共有や成果を交換することでモチベーションがあがります。今後ともCO2排出量の削減などに貢献し、わくわくした取組みをしていきたいです。

田中 茅ヶ崎製造所は不要な時間帯の空調や換気設備の停止のほか、熱交換器や給排気の圧力制御を導入して大型設備のエネルギー効率を高めることで、省エネルギーを推進しています。さらに、脱臭炉の運用の見直しなど群馬製造所

や八尾製造所と密接に連携して新たな 省エネルギー活動を検討しています。設 備の不具合により生産工程のやり直しや 稼働時間の延長が発生すると、不要な 資源やエネルギーの消費につながります。 安全で安定した設備の稼働を支えるこ とも環境保全活動につながっています。 設備チームの日常業務をしっかりと遂行 した上で、さらなるCO₂排出量の削減や リサイクルの推進に取り組んでいきます。



エネルギー供給会社との連携による CO2排出量削減活動

トーヤル アメリカ社では、2022年から電力会社や天然ガス供給会社と連携して、製造現場の状況を調査し、操業や保守におけるエネルギー使用のムダを見つけ、改善を行うことで継続してCO2排出量の削減を図っています。生産時の加熱に使用するガスヒーターの構造や素材を改良し、エネルギー効率を高めたほか、照明のLED化など、109カ所にわたる改善を実施した結果、年間2,610t-CO2の排出量削減を達成しました。



改良したガスヒーター断面

グリーンアルミ・リサイクルアルミの使用

東洋アルミエコープロダクツ(株)は、家庭用アルミホイル「サンホイル®」において、再生可能エネルギーを活用して製造された「グリーンアルミ」に加え、2025年4月より「リサイクルアルミ」の使用を開始しました。アルミニウム原材料の20%以上をグリーンアルミおよびリサイクルアルミに切り替えることでCO2排出量を削減しています。

東海東洋アルミ販売(株)シンガポール支店では、包装材用アルミ 箔に約30%の「グリーンアルミ」を採用することで、CO2排出量 の削減に取り組んでいます。







サンホイル[®]

環境配慮型小口輸送サービスの導入

群馬製造所では、カーボンニュートラルの実現に向けて、環境負荷の少ない輸送手段への切り替えを積極的に進めています。これまで、多品種小ロットの製品が多く、鉄道や海上輸送といったCO2排出量の少ない輸送手段は、コンテナ単位での手配が必要となるため、導入が困難でした。そこで今回、荷物1個から対応可能な小口輸送サービスを新たに採用し、環境配慮型輸送を実現しました。今後は、輸送時のCO2排出量の可視化を進め、さらなる削減を目指していきます。



小口輸送製品

CO₂排出量比較【群馬製造所から福岡県へ製品96kg輸送時の例】

輸送方法	環境配慮型 小口輸送 (鉄道)	トラック輸送	航空便輸送
輸送時の CO2 排出量	1.3kg-CO ₂	47.3kg-CO ₂	38.9kg-CO ₂

身近な3R活動

廃棄物の3R推進に向け、製造所では、梱包用資材や使用した溶剤の 再利用、従業員が着用してきた作業着をリサイクルし、生産現場で 使用する清掃用ウエスとして活用する活動などを実施しています。 オフィスでは、これまで紙ベースで受け取っていた伝票を、一部電子 申請化することにより、紙の使用量削減につなげています。また、 各部門から伝票に付帯して集まってくるクリアファイルや封筒な どを再利用する取組みを行っています。限りある資源の3R活動を 行うことで、事業活動からの廃棄物量の削減を目指しています。



作業着のリサイクル



文具の再利

TOYO ALUMINIUM Sustainability Report 2025 16